

技能評価システム移転促進事業(SESPP) は日本式技能評価のノウハウを移転するため、ベトナム、カンボジア、インドネシア、ミャンマーを対象に日本の専門家によるセミナーや技能評価トライアルを実施しています。事業の運営事務局を株式会社 J T B 霞が関事業部にて受託しております。

日本式の技能評価の活用促進が図れるよう、J-Skills Newsでは、事業の取組など、お知らせしています。(年4回発行)

□ベトナム・カンボジアで2020年度現地事業評価を実施

SESPP事業の効果的・効率的な実施を図るため、対象国における技能労働者のニーズの把握、広報手法や取組職種・等級の検証、中長期的課題の把握等を行うことを目的として、活動対象国であるベトナムと1月28日(木)に、カンボジアと2月9日(火)に官民合同委員会をオンラインによるリモートにて開催いたしました。

メンバーは各国政府人材開発部局、現地訓練校、厚生労働省、SESPP事務局、およびその他本事業に関係する者で構成され、当年度事業の実施状況や成果、次年度実施に向けた提案、意見交換など、対象国の自立運営に向けた事業効果の検証等を議題に開催いたしました。

■ベトナム

日時 参加者	2021年1月28日(木) ベトナム14:00-15:40、日本16:00-17:40 職業教育訓練総局(DVET)、厚生労働省、HIVC、HaUI、SESPP事務局
参加者数	17人 ※政府、訓練校など
今年度実施した 職種の成果	<p>《北部(ハノイ)》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CAD製図3級 技能評価者講習、技能評価トライアル ・機械検査2級 技能評価者講習、技能評価技法研修(学科試験問題集作成) ・フライス盤3級 技能評価トライアル ・旋盤2級 技能評価トライアル <p>《南部(ホーチミン)》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械検査3級 技能評価トライアル <p>《その他》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本邦研修代替(通信教育方式研修2名)電気系保全3級の技能評価技法研修
次年度の職種に 係る主な議論	<p>《技能競技大会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能競技大会の実施体制整備の支援を目的として、新たに設定し実施。職種は要検討。 ・日本人専門家によるデモンストレーション・セミナー、技能競技委員の訓練・模擬競技等の実施。 <p>《技能検定》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年事業のフォローアップ(セミナー、技能評価トライアル)。 ・国家検定化に向けての協力。 <p>《本邦研修》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気系保全3級。技能五輪大会(東京)の視察を含む。
国家検定化に 向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・機械検査の国家検定化については、積極的に取り組んでいるHaUIから管轄である商工省に働きかけてもらい、商工省からMoLISAに提案して欲しい。(厚生労働省)

■ カンボジア

日時 参加者	2021年2月9日(火) カンボジア14:30-16:20、日本16:30-18:20 労働・職業訓練省(MoLVT)、厚生労働省、NPIC、NTTI、PPI、JICA事務所、 SESPP事務局
参加者数	20人 ※政府、訓練校など
今年度実施した 職種の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・シーケンス制御3級 技能評価技法講習、技能評価トライアル ・電気系保全3級 技能評価技法講習、技能評価トライアル ・本邦研修代替(通信教育方式研修2名)電気系保全3級の技能評価技法研修
次年度の職種に 係る主な議論	<p>《技能競技大会》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能競技大会の実施体制整備の支援を目的として、新たに設定し実施。職種は要検討。 ・日本人専門家によるデモンストレーション・セミナー、技能競技委員の訓練・模擬競技等の実施。 <p>《技能検定》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年事業のフォローアップ(セミナー、技能評価トライアルの実施。シーケンス制御3級、電気系保全3級)。 ・国家検定化に向けての協力。 <p>《本邦研修》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電気系保全3級。技能五輪大会(東京)の視察を含む。
国家検定化に 向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・評価者の認定については、カンボジアの基準に沿って進めていくと認識。 ・SESPPでは、試験方式の評価システムを内容としているので、CQFの評価の中に、試験方式の評価システムを一部導入していただきたい。どのようなプロセスで導入していくかをカンボジア政府より報告が欲しい。(厚生労働省)

□ 研修レポート

■ カンボジアにおける電気系保全3級の技能評価技法講習および技能評価トライアルの実施

電気系保全作業は、機械保全職種の1つで、工場の設備機械の故障や劣化を予防し、機械の正常な運転を維持し保全するために重要な職種で、各種製造現場の共通的な作業です。今回は、電気系保全3級技能評価技法講習および技能評価トライアルを、JICAカンボジア・TVETプロジェクトの支援の下、2021年1月18日(月)～22日(金)に国立高等技術職業訓練校(NTTI)と日本をオンラインで結んで、リモート研修を実施しました。

受講者は政府関係者1人、訓練校の講師7人(NPIC2人、NTTI2人、PPI2人、ITI1人)の計8名、技能評価トライアル受検者は日系企業のSOKENから4人、各訓練校講師4人(NPIC1人、NTTI2人、PPI1人)の計8人が参加しました。

研修の講師を務めた内山博雅氏(公益社団法人日本プラントメンテナンス協会)からは『リモート研修という限られた環境下での講習であったが、評価者の皆さんが十分に1人立ちできる能力を身につけたと感じている。この検定制度が、重要だと言う事も再認識できた。訓練校の一つであるNTTIの方々には是非検定制度の確立に向けてのさらなる働き掛けをお願いできればと思う。』、増子俊哉氏(同)からは『機械は必ず劣化していく。その機械を使える状態に保つこと、いつでも使える状態にしておく事が、保全と言う技術。今回初めて本事業に参加したが、評価者の皆さんのスキルの高さを感じた。高い技術力と検定運営能力を是非活用して欲しい。』との講評を頂きました。



開講式風景(訓練校長挨拶)



日本側講義風景
(モニター越しの講義)



日本側講義風景
(複数のモニターで確認しながらの講義)



現地研修風景（技能評価トライアル）



現地研修風景（複数での採点作業）



現地集合撮影

■ カンボジアにおけるシーケンス制御3級の技能評価技法講習および技能評価トライアルの実施

シーケンス制御は機械設備をプログラムされた順序通りに自動的に動かすための制御方法で、製造ラインの自動化のためには必須の技術です。シーケンス制御3級の技能評価技法講習および技能評価トライアルを、JICAカンボジア・TVETプロジェクトの支援の下、2021年1月25日(月)～29日(金)にプレア・コソマック職業訓練校(PPI)と日本をオンラインで結んで、リモートで実施しました。

受講者は政府関係者1人、各訓練施設の講師6人(NPIC2人、NTTI2人、PPI1人、ITI1人)の計7人で、技能評価トライアル受検者は日系企業のMinebea4人、Sumi Wiring Systems2人、訓練施設の5人(NPIC1人、NTTI2人、PPI2人)の計11人が参加しました。技能評価トライアルでは8人が学科、1人が実技を合格し、1人が試験合格となりました。

研修の講師を務めた内山聡氏(株式会社デンソー)からは『今回はオンラインでの実施となったが、受講者の検定運営能力および技術的実力が格段に高くなってきていると感じた。また、検定員同士の引き継ぎや連携がとともよく出来ていた。今後の改善点としては、迅速な準備と試験時間管理を徹底することを心掛けて欲しい。』との講評を頂きました。



日本側講義風景（内山専門家）



日本側講義風景（機材配置）



現地研修風景（評価者発表）



現地研修風景（実技試験）



現地研修風景（採点評価作業）



現地研修風景（閉講式）

発行：SESPP事務局（株式会社JTB 霞が関事業部）

『J-Skills News』に関するお問合せ

SESPP事務局（株式会社JTB 霞が関事業部）

〒100-6051 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング23階
 TEL：+81-3-6737-9263 FAX：+81-3-6737-9266
 担当：近藤・横山・岩下・風見
 E-mail：sespp@jtb.com